



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department

Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

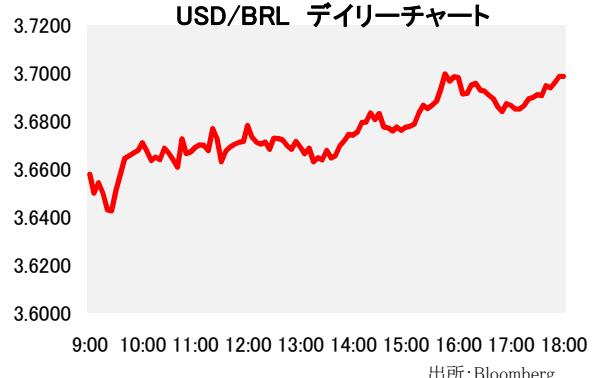
## 1. マーケット・レート

			8月26日	8月27日	8月28日	8月31日	9月1日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.5960	3.5530	3.5810	3.6200	3.6980	+0.0780
	BRL/JPY	Spot	33.35	34.06	33.98	33.46	32.27	-1.19
	EUR/USD	Spot	1.1315	1.1246	1.1185	1.1213	1.1317	+0.0104
	USD/JPY	Spot	119.94	120.99	121.71	121.22	119.38	-1.84
金利	Brazil DI Future	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	14.188 14.216	14.119 14.123	14.142 14.196	14.338 14.395	14.211 14.554	-0.127 +0.159
	On-shore USD	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	2.090 2.827	2.023 2.735	2.046 2.748	2.006 2.693	2.066 2.742	+0.060 +0.049
株式	Bovespa指数		46,038	47,715	47,154	46,626	45,477	-1,148
CDS	CDS Brazil 5y		346.80	327.80	334.67	350.00	367.59	+17.59
商品	CRB指数		185.276	192.635	197.101	202.091	195.999	-6.09

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	0.22%	0.22%	0.27%
マーキット・プライム PMI 製造業	--	45.8	47.2
CNI設備稼働率(季調済)	--	78.6%	79.5%
貿易収支(月次)	\$2900M	\$2689M	\$2379M
総輸出	\$15575M	\$15485M	\$18526M
総輸入	\$12715M	\$12796M	\$16147M
(米)建設支出(前月比)	0.6%	0.7%	0.7%
(米)ISM製造業景況指数	52.5	51.1	52.7



## 3. 要人コメント

レビィ伯財務相	ブラジル政府は財政目標の引下げを迫られるだろう。我々が事態を修正しなければ、ドルは上昇していくだろう。
---------	---



## 4. トピックス

- 本日のレアルは3.6280で寄り付き、直後に本日の高値となる3.6270をつけた。中国株式市場の続落を受けて全世界的に株式が軟調推移する中、為替市場では円とスイスフランが堅調に推移し、新興国通貨が売られる典型的なリスクオフモードの相場展開となった。レアルは終日軟調推移し、引けにかけて本日の安値となる3.7030を示現した。結局、レアルは3.6980でクローズした。
- FOMCでの投票権を持つボストン連銀のローゼングレン総裁は、現状および予測される状況を考慮すれば、利上げペースが漸進的になる可能性が高いだけでなく、政策金利は長期的に見ても前回の引き締めサイクルと比べて低い水準になるかも知れないとの認識を示した。また、最近の賃金に関するレポートが、インフレ率2%達成と整合するような賃金の伸びに繋がっている兆候を殆ど示していないとも述べた。利上げ期待の後退からドルは対主要通貨で売られる展開となった。
- 中国の製造業PMIが3年ぶりの低水準となり、株式市場が全面安となる中、ボエスパ指数は前日比約2.5%の大幅安となった。原油価格も大幅反落し、WTI先物は1バレル48ドル台後半から44ドル台前半まで急落した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。